

環境経営のツールとして進化し続ける「エコアクション21」

(一財)九州環境管理協会普及啓発部エコアクション21地域事務局

ECO-KEEA 九環協事務局長 永津 龍一

要 旨

環境対策を企業経営と融合させて取り組むためのツールとなるエコアクション21 (EA21) の重要性が益々高まっています。EA21 は、本年ガイドラインの改訂が行われており、事業者の企業価値向上への取組を一層支援できるよう、時代の要請に応じて環境のみならず経営全般をカバーする仕組みへと進化を続けています。

1. はじめに

企業が行う事業活動は、インプットとしてエネルギーや資源を投入し、アウトプットとして製品やサービスを提供しますが、この時、併せて二酸化炭素や廃棄物を排出し環境に負荷を与えます。こうした個々の企業の活動による環境への負荷の集積は、経済活動の拡大に伴って幾何級数的に増大しており、地球温暖化など地球環境に取り返しのつかない影響を与えています。

国際社会は、2015年に「パリ協定」を採択するなど、地球温暖化対策に向けての取り組みを一層強化することを決議し、現在、その実効を確保するためのルール作りを進めています。今日、全ての企業は、持続可能な社会の実現に向けて、これまで以上に事業活動に伴う環境への負荷の最小化を図っていくことが強く求められています。

このような中、環境対策を経営と融合させて取り組むためのツールとなるEA21は、益々その重要性が高まっており、事業者の企業価値向上への取組を一層支援できるよう、環境のみならず経営全般をカバーする仕組みへと、時代の要請に応じて進化を続けています。

2. EA21とは

EA21は、環境省が策定した中小企業にも容易に取り組める日本独自の環境マネジメントシステムです。

事業者は、EA21ガイドラインを活用することにより、環境への負荷や環境への負荷を低減するための具体的な方法を簡単に把握することができます。また、ガイドラインに記載されている要求事項に沿って順次取組を進めていくことにより、自然に環境マネジメントシステムを

構築することができるようになってきています。この環境マネジメントシステムをPDCAにより継続的に運用することなどにより、下表に示すような経営メリットを得ることができます。

また、EA21では、ガイドラインの定めるシステムへ適合しているかを第三者が審査し、認証・登録する仕組みが設けられています。

EA21の7つのメリット

| 項目 | 内容 |
|----|--|
| 1 | 環境対策の効果的・効率的な実施 二酸化炭素の排出抑制や廃棄物のリサイクル等、効果的、効率的な環境への負荷の削減 |
| 2 | 経営面での経費削減などの効果 経費の削減や生産性・歩留まりの向上、また社員のモチベーションの向上等、経営面での効果を発揮 |
| 3 | 社会からの信頼・企業イメージの向上 企業の社会的責任(CSR)の履行、環境活動レポートの公表による取引先やお客様等からの信頼性向上 |
| 4 | 取引条件への適合 バリューチェーンを形成する企業に対して、環境経営システム構築が取引先からの取引条件に対応 |
| 5 | 低利融資制度などの特典 認証・登録事業者に対する低利融資制度の利用、公共機関の入札参加資格審査における加点等の優遇措置 |
| 6 | 審査人による指導・助言 EA21審査人による環境への取り組みや環境経営システムの構築・運用方法に関する丁寧な指導・助言 |
| 7 | ロゴマークの使用 自社パンフレット、名刺、車両ステッカー等へのロゴマーク(®環境省)の使用によるEA21の取組の内外アピール |

3. ECO-KEEA 九環協の役割

一般財団法人九州環境管理協会は、EA21の認証・登録を行うための地域機関として、EA21地域事務局(ECO-KEEA 九環協)を2005年に開設し、次に示すと

おり、EA21 の普及促進や認証・登録を得ようとする事業者への支援、認証・登録を得た事業者へのフォローアップを行っています。

3. 1 認証・登録の手続き

審査申込のあった事業者の業種や業態、規模等を勘案し、最も適切と考えられる審査人を選定します。そして、審査人が行った審査結果を学識者等で構成する地域判定委員会で審議し、審議結果を認証・登録の可否を最終判定する中央事務局に報告します。

3. 2 認証・登録の支援プログラム

福岡県や福岡市、また関係企業団体と連携して、毎年度、EA21 の認証・登録に向けた勉強会（集合形式のコンサルティングで全5回）を無料で開催しています。参加した事業者は、審査人からEA21の解説や具体的取り組みのアドバイスを受けることができ、受講から短期間で効率よくEA21に取り組み、審査を経て認証・登録に至ることができます。

3. 3 フォローアップセミナー

EA21 の取組を継続している事業者の中には、担当者の異動による継続性や取組の行き詰まりなど課題を抱えている事業者も少なくありません。このような事業者の課題を解決し、企業価値の向上を図るため、毎年度、専門家による講義と個別相談会で構成されるフォローアップセミナーを開催しています。

4. 環境経営の普及・拡大を目指して

これからの環境経営を促進するため、EA21 の骨組みが大きく変わろうとしています。また、それに合わせて様々な施策や審査人の資質の向上が求められています。



フォローアップセミナーの様子

4. 1 Eco-CRIP（エコクリップ）補助事業

EA21 の登録促進を図るため、CO₂の削減に特化したプログラムとして開発された Eco-CRIP（エコクリップ）に取り組む事業者に対して、環境省補助事業として支援を行っています。本事業では、EA21 審査人の中から選ばれた支援相談人から、マンツーマンで5回の取組支援を受けることができ、またこの Eco-CRIP を活用してEA21 の認証・登録を得ることも可能です。ECO-KEEA 九環協は、Eco-CRIP 補助事業の九州地域の担当地域事務局を行っています。

4. 2 EA21 ガイドラインの改訂

EA21 のガイドラインが本年5月に改訂（施行は来年4月からの予定）されました。新ガイドラインでは、事業者の成長チャンスや経営の進化を最大化できるよう支援するなど、事業者が企業価値の一層の向上に向けて取組を進められるように構成されています。また、CO₂の削減成果等を中央事務局においてデータベース化し、事業者による業種別のベンチマークの提示など経営に資するデータとしてフィードバックする仕組みが盛り込まれています。更に、地域事務局の承認や業務の広域化による効率化なども盛り込まれています。この広域化について、ECO-KEEA 九環協では、本年4月より沖縄県内の地域事務局業務の一部を新ガイドラインの施行に先行して実施しているところです。

4. 3 EA21 全国交流研修大会の開催

EA21 の認証・登録の審査とともに指導・助言を行う審査人の力量は、制度の要（かなめ）と言えるほど重要です。このため、EA21 審査人の力量向上と併せてEA21 の普及促進を図るため、毎年度、全国の審査人及び地域事務局職員を対象としたEA21 全国交流研修大会が開催されています。第12回大会となる今年度は、九州・沖縄ブロックが担当することになっており、ECO-KEEA 九環協と中央事務局の主催により、福岡市内において大会を開催することとしています。現在、学識者や行政機関等で構成する実行委員会と、大会事業を具体的に立案する運営部会及び企画部会を設置して準備を進めています。

ECO-KEEA 九環協は、今後とも地域の中核的機関としてEA21の発展に積極的に貢献していく考えです。